

城山ダム見学会

令和元年東日本台風において、城山ダムでは、予備放流によりダムの水位を事前に下げ、防災操作(洪水調節)を実施しましたが、計画規模を上回る流入量により、洪水調節容量を使い切る見込みとなり、令和元年10月12日21時30分に、ダム運用開始以降初めて、流入量と同じ量を下流に放流する異常洪水時防災操作(緊急放流)を実施しました。幸いにも下流河川において越水や破堤による大きな被害はありませんでした。

(神奈川県ホームページより)

今回は、この神奈川県の「城山ダム」を見学します。

下記のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	令和2年11月1日(日)	8:00	集合・出発
集合場所	JR新小岩駅 東北広場		(裏面地図参照)
参加費	1,000円		(資料、交通費の一部として)
募集人数	25名(先着順)	eizoutoshikeikaku@gmail.com	携帯 080-4006-8819
行程	8:00	出発	(集合次第出発します)
	9:40	城山ダム	到着 見学
	11:20	道の駅 八王子滝山	到着 お土産購入
	14:00	新小岩駅 東北広場	到着予定(道路状況により流動的です。)

※当日は、次のことに関してご理解、ご協力をお願いします。

- ・マスク着用をお願いします。・乗車中は飲食を禁止します。水分補給はストローを利用し、マスクを取らずに飲める工夫をお願いします。
- ・昼食は、ご持参いただき野外での飲食をお願いします。
- ・コロナ禍での開催で、参加募集人数を少なくしております。今回ご参加いただけない方には、今後、コロナ感染の状況(収束)により、この見学会を再度実施したいと考えております。是非ご参加ください。

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会

城山ダムに関する新たな情報共有の仕組みと洪水調節機能の強化について ～令和元年東日本台風による城山ダムの緊急放流を受けて～

記者発表資料：2020年5月26日（県政・相模原・厚木・大和・平塚・藤沢記者クラブ同時発表）

城山ダムでは、令和元年東日本台風の豪雨により、運用開始以来、初めて異常洪水時防災操作（緊急放流）を実施しましたが、情報伝達に遅れが生じるなどの課題が明らかになりました。県はこれまで、流域市町とともに課題の検証等を進めてきましたが、このたび、ダムの情報伝達に係る新たな情報共有の仕組みを構築し、運用を開始するとともに、洪水時のダム操作を見直し、洪水調節機能の強化を図ることとしました。



1 有効で機敏な情報共有の仕組みの構築

緊急放流に関する県から流域市町への情報伝達について、遅れや錯綜などにより住民避難の現場に混乱が生じたことから、流域市町とともに課題の検証や対応策の検討を進め、有効で機敏な情報共有の仕組みを構築しました。

具体的な取組

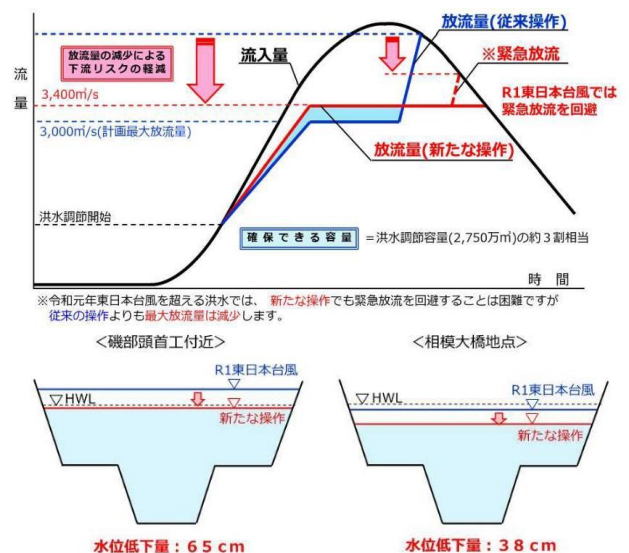
- 迅速かつ確実な情報伝達・情報共有のため、LINE WORKSを基軸とする仕組みを導入
- 流域市町が住民避難に係る対応を円滑に行えるよう、情報伝達の項目や内容を改善

2 ダムの洪水調節機能の強化

令和元年東日本台風では、城山ダムの計画規模を超える降雨により、緊急放流を実施せざるを得ませんでした。今後、これができる限り回避するため、ダムの洪水調節機能を強化します。

具体的な取組

- 計画規模を超える降雨が予測される場合は、下流に危険を及ぼさない範囲で、従来より早い段階から放流量を増加させるなど、洪水調節に係るダム操作の方法を見直します。
- 事前放流については、城山ダムの構造上、大きな洪水調節機能の強化につながらないものの、少しでも洪水調節容量を確保できるよう、その運用態勢を整備します。
- これらにより、令和元年東日本台風と同じ降雨に対しては、従来の約1.3倍の洪水調節容量を確保したことと同様の効果が得られ、緊急放流の回避が可能になります。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

